

2種目で県大会制覇! (県中学校体育大会)

7月23日(金)から26日(月)の日程で開催された山形県中学校総合体育大会で、東中学校男子バスケットボール部と齋藤了将くん(西中3年:砲丸投げ)が、優勝という偉業を成し遂げてくれました。

この2つの優勝は私たち町民にとって誇りとなる素晴らしいニュースです。本人の努力はもちろん、保護者、学校の先生、地域のかたがたなどさまざまなかたの支えがあつての成績だと思います。

町民の代表として、次のステージ(東北大会)での活躍を期待し、さらに素晴らしい結果を待っています。東北大会は8月上旬に開催されます。

東中学校男子バスケット部



地区大会を順調に勝ち上がった東中は、県大会1回戦で昨年の新人戦県大会決勝で惜敗した山形六中とききなり対戦することになりました。選手も新人戦のリベンジに燃え、一進一退の攻防の中、終盤に突き放し69対58で貴重な勝ちを収めました。この1勝がチームに勢いをもたらし、準決勝で昨年優勝の酒田六中を破ると、その勢いはさらに加速。鶴岡二中相手に80対56の大差で見事優勝を勝ち取りました。東中の今回の優勝は、男子バスケットボールでは西置賜勢初の優勝ということです。着実に力を身に付け、勢いのある東中男子バスケットボール部の東北大会での活躍が楽しみです。

齋藤了将くん(男子砲丸投げ)



男子砲丸投げで齋藤くん(西中3年)が13.38を投げ、従来の記録を20センチ更新する大会新記録で優勝を飾りました。通信陸上大会で標準記録を突破し、全国大会の切符を既に手に入れている齋藤くんは、本来の力が発揮できないまま最後の6投目を迎えてしまいましたが、持ち前の集中力と身長183センチ、体重120キログラムの見事な体格を生かし、他の選手の記録を1センチ以上上回る圧倒的な成績で優勝しました。齋藤くんは、「助走を練習し、14センチ投げ全国入賞をめざします」と力強く話してくれました。ちなみにお父さん(英人さん)も中学時代同種目で優勝され、全国大会に出場されたそうです。

西置賜の精鋭が集結

白鷹町代表が2部門で連覇!

支部消防操法大会

■ポンプ車の部
1位 1分団1部1班(東高玉)
出場者: 児玉和弘、金田雄太、長谷部克広、金田義丈、本木栄次、梅津貴善



■小型ポンプの部
1位 2分団3部2班(高岡塩田)
出場者: 安部雅晃、樋口賢太郎、熊坂嘉門、樋口慶樹、大滝祥平



▼7月11日、西置賜行政組合消防本部で平成22年度山形県消防操法大会西置賜支部大会が行われ、白鷹町代表が3部門のうち2部門で優勝を飾りました。

優勝したのはポンプ車の部に出場した1分団1部1班(東高玉)と、小型ポンプの部に出場した2分団3部2班(高岡塩田)。この2部門については、昨年も町代表が優勝しており、連覇達成となりました。

また、小型ポンプの部に出場した2分団2部4班(柏原)、小型ポンプ積載車の部に出場した4分団3部1班(中山)がそれぞれ3位と健闘されました。

出場された消防団員、関係者の皆さん、長い期間の訓練本当にお疲れさまでした。